

はじまりの
名護屋城名護屋城の逸話や茶の湯の魅力について
歴史や文化芸術に詳しい佐賀新聞社中尾社長に聞きました。

第一回

「日本の首都だった
肥前名護屋」日本の首都だった
肥前名護屋

名護屋の地はかつて、人の手のまったく入らない荒地地であったと、多くの史料に記されています。ここに時の権力者、秀吉は天下普請と称して全国の大名に命じ、きわめて短期間で、大坂城に匹敵する大城郭を築き上げました。戦国から安土桃山時代にかけて蓄積された日本の経済力、軍事力、技術力の結晶。それが肥前名護屋城です。

政治経済の中心地にあった大坂城や、のちの江戸城が立派なのは当然のこと。かたや名護屋城は朝鮮出兵のためだけに築かれました。戦国時代に群雄割拠した大名たちがこぞって参集し、近所付き合いでできる程の近さで数カ月、あるいは数年にわたり在陣したことも、日本史上あり得なかったこと。名護屋城は空前絶後にして、唯一無二の城郭都市だったのです。

歴史の転換点となった
名護屋の7年

足掛け7年にも及んだ朝鮮出兵。多くの武将たちが海を渡り、すさまじい消耗戦を強いられました。その一方で、名護屋城に留まり、一兵も出さずに兵力を温存した徳川家康らもいました。この明らかな立場の違いが、やがて大名間の大きな分断を生み、豊臣政権を弱体化させたのです。つまり名護屋の7年が日本史の転換点になった。それが、はじまりの名護屋城。

佐賀新聞社社長
中尾清一郎はじまりの地 今、ふたたび。
名護屋城大茶会

日時 令和4年 3月27日 日 10:00~17:00

会場 肥前名護屋城跡及び名護屋城博物館、茶苑海月ほか
(佐賀県立名護屋城博物館:佐賀県唐津市鎮西町名護屋1931-3)

【ステージイベント】



- 長谷川理恵さん
スペシャルトーク&WabiYoga
- 講談/神田山緑
- 篠笛演奏/佐藤和哉
- 能楽実演/井内政徳
- 薩摩琵琶演奏/北原香菜子
- 鷹匠実演/石橋美里

【再現茶会】



秀吉が名護屋城で楽しんだもう一つの茶室「草庵茶室」がステージに登場

同日 13:00公開スタート

【県内茶道団体による呈茶席】

※有料 ※茶席の当日受付は15時まで

【名護屋城マルシェ】

美味しいグルメやかわいい雑貨が大集合

【よみがえる黄金の茶室】



豊臣秀吉が名護屋城で使った「黄金の茶室」を再現。

名護屋城博物館
2階常設展示室